令和 4 年度 益城町立木山中学校 学校経営基本構想

【学校教育目標】

郷土を愛し 当たり前に感謝し 夢に向かって日々努力する生徒の育成



- <学校教育が目指す 資質・能力>
- ○学びを人生や社会に 生かそうとする「学 びに向かう力・人間 性等」の涵養
- ○未知の状況にも対応 できる「思考力・判 断力・表現力」の育成
- ○生きて働く「知識・ 技能」の習得

<こんな生徒に・・・>

- 〇仲よく助け合う生徒 (協調性)
- ○自力で考え行動する生徒(自主性)
- ○我慢強くやり抜く生徒 (継続力)

<こんな教師に・・・>

- ○生徒・保護者の話を聞く教師
- ○生徒をほめて叱れる教師
- ○自分を高める努力をする教師

<こんな学校に・・・>

- ○気持ちのよい挨拶が交わされる学校
- ○一人一人が自分の思いを語れる学校
- ○地域から信頼され親しまれる学校

努力実践超和協同三綱領

<総合的な学習の 時間の目標を見方・ 表を働かせ、横断のうえを を動な学習を行うより とを通を解決し、している 生き方を質・能力の育成

すべての生徒が

「これからもずっと、木山中がすき、益城町がすき」と言える学校

【本年度の重点事項と目標】

<豊かな心の育成> いじめ・不登校の改善

- ○道徳的実践力の育成
- ○キャリア教育の推進
- ○関係機関等と連携
- ○教師と生徒の信頼関係の構築

<確かな学力の育成> 学習意欲の向上

- ○「楽しく、ためになり、試 してみたくなる」授業実践
- ○個に応じた学習支援の充実
- ○家庭学習の量と質の向上
- ○教師の授業力向上

<健やかな体の育成> 健康管理能力の育成

- ○基本的生活習慣の確立
- ○教育活動全体を通じた体力 の向上
- ○自力登校の奨励

<地域・家庭との連携の推進>

○コミュニティ・スクールの活性化 ○ボランティア活動の奨励 ○家庭への細やかな情報発信

【学校経営方針】

- ○人間尊重の精神を基盤に、生徒一人一人のよさや可能性を見出し、「認め、ほめ、励まし、 鍛え、伸ばす」教育実践に努める。
- ○教職員の一人一人が教育のプロという意識を持ち、求められる基本的資質と専門性を高め、 生徒に「生きる力」を育む指導体制の確立を図る。
- ○コミュニティ・スクールの取組を通して家庭や地域との交流や連携を深め、地域とともにある学校づくりに努める。

本年度の木山中テーマ 「 地域で学び、地域を潤す木山中 」

令和3年度 益城町立木山中学校 学校経営基本構想

【学校教育目標】

郷土を愛し 当たり前に感謝し 夢に向かって日々努力する生徒の育成



- <学校教育が目指す 資質・能力>
- ○学びを人生や社会に 生かそうとする「学 びに向かう力・人間 性等」の涵養
- ○未知の状況にも対応 できる「思考力・判 断力・表現力」の育成
- ○生きて働く「知識・ 技能」の習得

<こんな生徒に・・・>

- ○仲よく助け合う生徒(協調性)
- ○自力で考え行動する生徒(自主性)
- 〇我慢強くやり抜く生徒 (継続力)

<こんな教師に・・・>

- ○生徒・保護者の話を聞く教師
- ○生徒をほめて叱れる教師
- ○物事に率先して取り組む教師

<こんな学校に・・・>

- ○気持ちのよい挨拶が交わされる学校
- ○一人一人が自分の思いを語れる学校
- ○地域から信頼され親しまれる学校

努力実践 超和協同 三綱領

<総合的な学習の 時間の目標>

探求的な見方・考え方 を働かせ、横断的とをを 的な学習を行うこと まして、よりよく課題方 解決し、自己の生きを 考えていくための資質・ 能力の育成

すべての生徒が

「これからもずっと、木山中がすき、益城町がすき」と言える学校

【本年度の重点事項と目標】

<豊かな心の育成> いじめ・不登校の改善

- ○道徳や体験活動等での道徳的実践力の育成
- ○キャリア教育の推進
- ○関係機関等と連携した 不登校の予防・解消
 - ・「木山中の生徒でよかった」生徒が95%以上
- <確かな学力の育成> 学習意欲の向上
- ○「わかる・できる」授業 の実践
- ○個に応じた学習支援の充実
- ○家庭学習の量と質の向上
 - ・「自分で計画を立てて勉強 している」生徒が70%以上
- <健やかな体の育成> 健康管理能力の育成
- ○教育活動全体を通じた体力の向上
- ○基本的生活習慣の確立
- ○自力登校の奨励
 - ・「体力づくりに取り組んでいる」生徒が80%以上
 - ・自力登校の生徒が90%以上

<地域・家庭との連携の推進>

○コミュニティ·スクールの活性化 ○ボランティア活動の奨励 ○家庭への細やかな情報発信 ・教育懇談会で「地域を大切にする生徒が育っている」との回答が70%以上

【学校経営方針】

- ○人間尊重の精神を基盤に、生徒一人一人のよさや可能性を見出し、「認め、ほめ、励まし、 鍛え、伸ばす」教育実践に努める。
- ○教職員の一人一人が教育のプロという意識を持ち、求められる基本的資質と専門性を高め、 生徒に「生きる力」を育む指導体制の確立を図る。
- ○コミュニティ・スクールの取組を通して家庭や地域との交流や連携を深め、地域とともに ある学校づくりに努める。

本年度の木山中テーマ 「 復興から創造へ ~ 地域とともに ~ 」